

いばらき教員応援団

For the future of Ibaraki children

No.2

平成23年度の事業内容をご報告いたします



ごあいさつ

本県が産業大県「活力あるいはいばらき」として発展し、さらに21世紀の日本を創っていくためには、未来を拓くたくましい青少年を育成していくことが重要であります。「教育は人なり」という言葉がありますが、児童生徒に質の高い教育を実践する優れた教員の存在が不可欠です。

そこで、この度「いばらき教員応援団」を発足させ、多くの皆様のご支援、ご協力に依り、無事初年度の事業を終了致しました。研修に参加されました先生方が、多数その講演内容に感動され、その気付きからこれからのお教育活動に生かされるものと思っております。事業を運営していくなかで、責任者として確かな手応えを感じ、今後も県民運動の一環として茨城の教員を応援し、そのことによって茨城の教育力の向上を目指してまいります。

ここに広く、県民の皆様のこの事業へのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

理事長
高野英一



平成23年度事業概要

目的

日本を代表する一流講師による講演会を開催し、講話を通じて、教員自らが総合的な教師力を高めることを目的とする。

対象者

県内公立小・中・高・特別支援学校の
・新任校長
・新任教頭
・新任教務主任

研修時期

- 第1回グループ別研修 8月17日(水)～19日(金)
茨城県教育研修センター
- 第2回合同研修 10月18日(火)
小美玉市四季文化会館みの～れ

第2回 合同研修

10月18日(火)●新任校長・新任教頭・新任教務主任(553名)

人間力を高めるためには、世のため人のためを考える公の精神を身に付けさせる必要がある。教師自らが範を示すことが教育の原点であり、教師は常に「生徒に本気で接しているか」を問われている。

演題

教育は未来への希望



●講師

上甲 晃 氏

【昭和16年 大阪市生まれ】

松下政経塾で初代塾頭を務めた経歴をもつ。「志の高い日本」は「志の高い日本人」によってこそ実現するとの思いに立ち、志ネットワーク活動を展開している。また、活動の一環として、「青年塾」を創設し、青年の啓発にあたっている。



Ibaraki children

上甲氏は教員以上に教育者であると感じた。校長として、今後の学校経営に当たり勇気をいただいた。

(県立高等学校 校長)

上甲氏の実体験からの講話は大変説得力があり、また氏の見識高い豊かな人間性に圧倒されました。

(県立高等学校 教務主任)

今回の研修の機会を作って下さったいばらき教員応援団の皆様に感謝を申し上げたい。これからも、教育界と財界がこのような研修会で交流できるようにしていただけないとありがたい。

(石岡市内中学校 教頭)

第1回 グループ別研修

8月17日(水)●新任校長(162名)

8月18日(木)●新任教頭(212名)

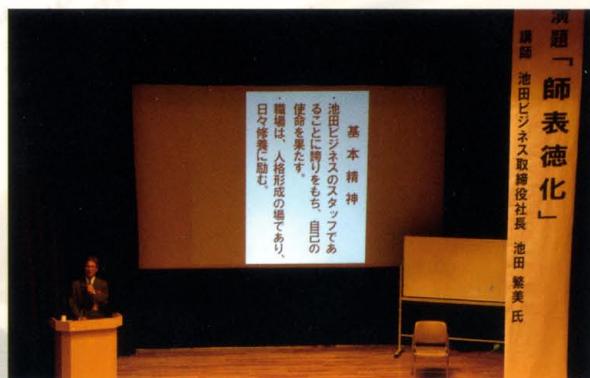
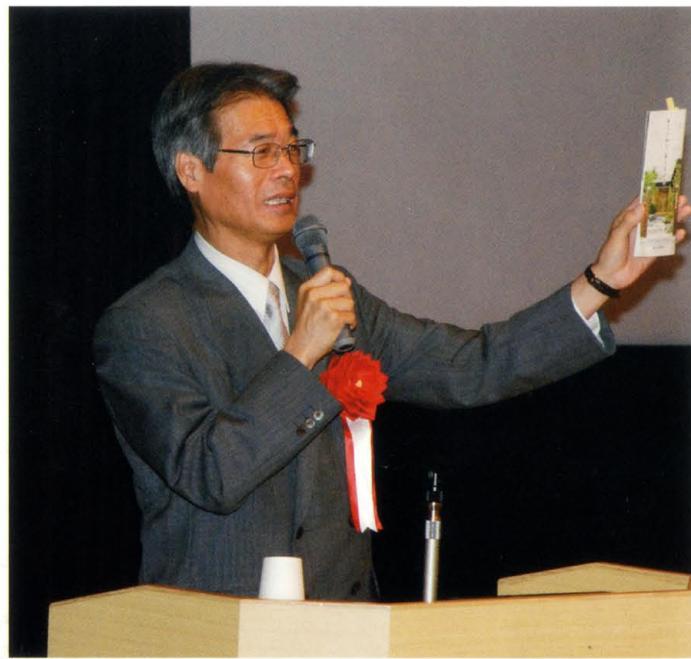
8月19日(金)●新任教務主任(251名)

演題

師表徳化

—自ら手本となり、まわりを感化する—

人を育てる企業や学校において、部下や生徒の人格形成に携わる立場の社長や教師は、教師自らが徳をもって生徒を導く「師表徳化」を実践すべきである。



●講師

池田 繁美 氏

【昭和23年 福岡市生まれ】

「素直な心は、よりよい生き方を生み出す」という信念のもと、人格向上のための「素心学」を学ぶ場として、〈素心学塾〉〈耕心塾〉を主宰。

また、「経営者のための人間学」「中小企業のための実践財務」「事業計画の立て方」等のテーマで商工会議所、青年会議所、経営者グループなど全国各地で講演活動を行っている。

受講者の感想より

■ 氏の、教育基本法に対する読みの深さ、分析の鋭さに感服した。
(北茨城市内中学校 校長)

■ この度の研修では、教頭という新たな役割を担うことになった私にとって、再度自分を見つめ直すよい機会を与えていただきました。
(県立養護学校 教頭)

For the future of

■ 「学びの本質は、もの知りになることでも偉くなることでもなく、自己の欠けているところに気づいて、そこを正していくところにある。変わらなければならないのは自分自身なのである。」この言葉に、思わずハッとさせられ、自分自身を振り返る機会をいただきました。

(笠間市内小学校 教頭)

「校長先生に德育“授業”」～いばらき教員応援団が初研修～

笠間市の県教育研修センターで17日、「德育」をテーマにした“授業”が開かれ、目からうろこが落ちる鋭い指摘に、日頃指導する立場の校長先生162人が熱心に耳を傾けた。

(読売新聞・8月18日朝刊)

「徳もって指導を」～いばらき教員応援団研修会スタート～

民間有志が教育をサポートする取り組みは全国でも珍しいという。

(茨城新聞・8月18日朝刊)

新任校長らに上甲氏が講演

県内財界有志らが教員の資質向上を支援する「いばらき教員応援団」の合同研修会が18日、小美玉市部室の四季文化会館「みの～れ」で開かれた。

(茨城新聞・10月19日朝刊)



いばらき教員応援団役員一覧

| | | | |
|-----------|--------|--------------|---------|
| 理事長 | 高野 英一 | タカノフーズ株式会社 | 取締役会長 |
| 副理事長 | 幡谷 浩史 | 茨城トヨタ自動車株式会社 | 代表取締役会長 |
| 専務理事兼事務局長 | 和田 芳武 | ネットトヨタ茨城株式会社 | 代表取締役会長 |
| 常任理事 | 加藤 啓進 | 茨城日産自動車株式会社 | 代表取締役会長 |
| 常任理事 | 齋藤 浩 | 社団法人茨城県医師会 | 会長 |
| 常任理事 | 関 正夫 | 関彰商事株式会社 | 代表取締役会長 |
| 常任理事 | 沼尻 博 | 沼尻産業株式会社 | 会長 |
| 常任理事 | 幡谷 祐一 | 茨城県信用組合 | 理事長 |
| 常任理事 | 和田 祐之介 | 茨城県商工会議所連合会 | 会長 |

今後も広く県民の皆様のご参加をお願いいたします

〈趣旨に賛同される方へ〉

趣旨に賛同される方は、本リーフレットに添付されております「いばらき教員応援団入会申込書」に必要事項を記入の上、下記の問い合わせ先に郵送でお申し込みください。

【問い合わせ先】

茨城県教育庁高校教育課内 いばらき教員応援団事務担当

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL.029-301-5260